

作業計画と実績

2016年10月12日現在

月日	曜日	予定 (9/26週間予定表より)			実績				
9月26日	月	・RELL設置 準備作業	Dynamic Surf 実験(3回目)	Multi Omics 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・Multi Omics	・RELL設置 準備作業	Dynamic Surf 実験(3回目)	Multi Omics 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・Multi Omics
9月27日	火	・RELL設置 準備作業	Dynamic Surf 実験(3回目)	Group Combustion 実験準備作業	○船外利用 ・宇宙環境計測ミ ッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置 (ExHAM)を利用した 曝露実験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線パー ストの観測(CALET)	・RELL設置 準備作業	Dynamic Surf 実験(3回目)	Group Combustion 実験準備作業	○船外利用 ・宇宙環境計測ミ ッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置 (ExHAM)を利用した 曝露実験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線パー ストの観測(CALET)
9月28日	水								
9月29日	木								
9月30日	金								
10月1日	土								
10月2日	日								

日付は日本時間

- 略語 Multi Omics: 宇宙環境における健康管理に向けた免疫・腸内環境の統合評価
(代表研究者: 大野博司 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター)
- Dynamic Surf実験: 高プラントル数流体のマランゴニ振動流遷移における液柱界面の動的変形効果の実験的評価
(代表研究者: 鴨谷康博 ケースウェスタンリザーブ大学 機械・航空宇宙工学部門 教授)
- Group Combustion: ランダム分散液滴群の燃え広がりと群燃焼発現メカニズムの解明
(代表研究者: 三上真人 山口大学 大学院 創成科学研究科 教授)
- Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- ExHAM: 簡易曝露実験装置
- CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
- RELL: NASAの船外実験装置

作業計画と実績

2016年10月12日現在

月日	曜日	予定 (10/3週間予定表より)	実績
10月3日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中)	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中)
10月4日	火	・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中)	・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中)
10月5日	水	・Area PADLES ・Multi Omics ・Group Combustion 実験準備作業	・Area PADLES ・Multi Omics ・Group Combustion 実験準備作業
10月6日	木	Multi Omics 実験	Multi Omics 実験
10月7日	金	Multi Omics 実験	Multi Omics 実験 Group Combustion 実験準備作業
10月8日	土	○船外利用 ・宇宙環境計測ミッ ション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置 (ExHAM)を利用した 曝露実験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線パー ストの観測(CALET)	○船外利用 ・宇宙環境計測ミッ ション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置 (ExHAM)を利用した 曝露実験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線パー ストの観測(CALET)
10月9日	日		

日付は日本時間

- 略語 Multi Omics: 宇宙環境における健康管理に向けた免疫・腸内環境の統合評価
(代表研究者: 大野博司 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター)
Group Combustion: ランダム分散液滴群の燃え広がりと群燃焼発現メカニズムの解明
(代表研究者: 三上真人 山口大学 大学院 創成科学研究科 教授)
Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
ExHAM: 簡易曝露実験装置
CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置